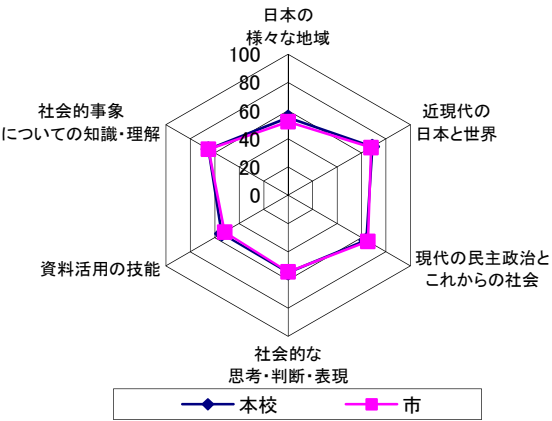


宇都宮市立国本中学校 第3学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	日本の様々な地域	55.1	52.1
	近現代の日本と世界	68.9	67.8
	現代の民主政治とこれからの社会	63.9	65.2
観点別	社会的な思考・判断・表現	54.7	54.3
	資料活用 of 技能	54.4	52.1
	社会的事象についての知識・理解	65.3	65.2



★指導の工夫と改善

領域		本年度の状況	今後の指導の重点
地理	日本の様々な地域	本校の定着率は「55.1」と市の平均を上回っていることがわかる。日本の各地域の地理的事象に関する基礎的な知識の習得は概ね良好と思われる。地図や表・グラフと言った資料の活用に、興味を持って取り組むことができている。	資料活用に若干検討すべき課題が見られる。地図や統計資料写真等を活用し、地理的事象に関する興味を喚起して、各地域の様子を明確にイメージ化することを課題としたい。また今後の課題として、地理的学習を自然地理学的事象とあわせて、文化人類学や社会学的な内容にも拡大し、それらを融合させて総合的な地理的な学習を実現したい。
歴史	近現代の日本と世界	近現代における歴史的事象の習得は、比較的好ましい状況である。近現代の歴史的事象に関して、興味と関心が強く、それぞれに各課題に対して自分なりの考えを持って取り組もうとする意欲が見られる。	歴史的事実を形成した根拠や、それに対する社会の対応を巨視的にとらえること。また人々の歴史的諸事象に対する政治・経済・文化の各側面から各種の資料を駆使して検討し、時代の流れを総合的に捕らえて、今後は、各時代の特徴を適切な表現方法で表現できるようにすることを重点化して指導したい。
公民	現代の民主政治とこれからの社会	習得状況は「63.9」で、市の習得状況と比べて少し低位にあることがわかる。現代社会に関する各課題に関して興味を持って取り組むことができるが、知識習得に若干の困難さが伺える。	自分達が生きる現代社会に興味を持たせ、各情報を駆使してそれぞれの興味・関心に基づいて課題を獲得させる。そしてその課題に対して仮説を設け、それを適切な資料を用いて検証する。あわせて適切な表現方法を検討して他にわかりやすく伝えられる表現方法を身に付けさせる。相互に意見を交換し、自他の意見を相互に理解して、更に各自の思考を発展させる。